

# 働き方改革通信😊

No.28 令和6年(2024年)1月10日発行  
発行：函館市教育委員会学校教育課  
教育政策推進室教育政策課 TEL: 21-3523  
gakko-keikaku@city.hakodate.hokkaido.jp

## 時間外在校等時間（4月～9月）の状況

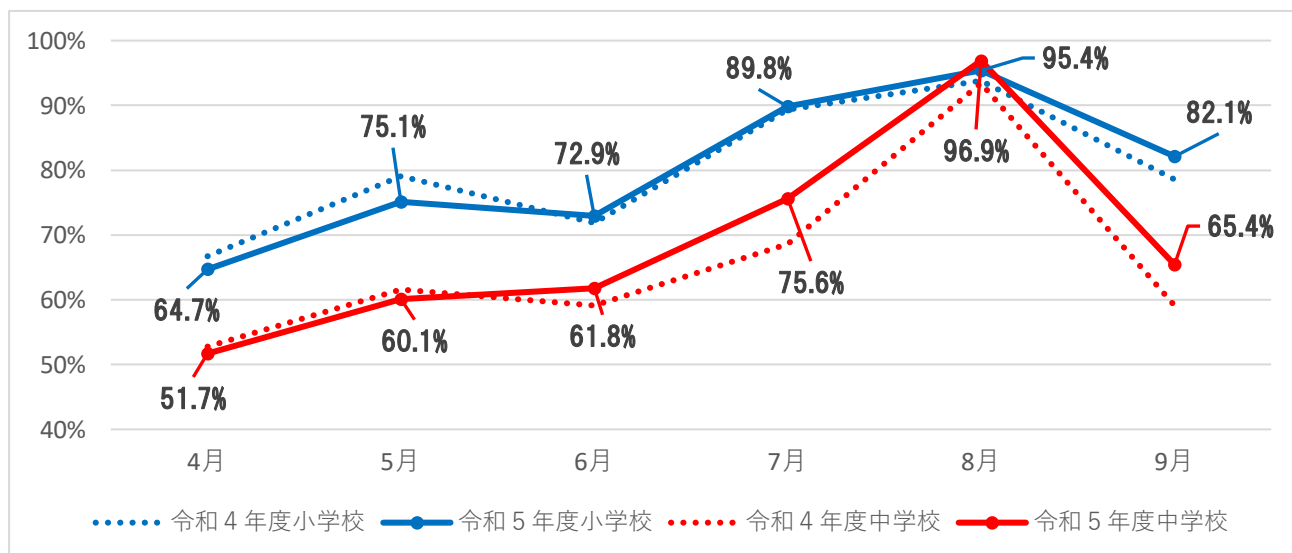
函館市教育委員会では、教職員が健康でやりがいをもって働く環境を整え、児童生徒と向き合う時間を確保できるよう、「教職員の業務改善のための取組」を定め、取組を進めています。

今年度の上半期（4月から9月まで）の時間外在校等時間の実績を集計しましたので、お知らせします。単純な比較はできませんが、昨年度と比べ、今年度は概ね同様の傾向ですが、小中学校とも6月～9月で、月45時間以内の教員の割合が増加しています。なお、グラフには掲載していませんが、幼稚園では昨年度同様、すべての月で100%、高等学校では昨年度と比べ、45時間以内の教員の割合が増加しています。

各学校においては、集計結果を参考に、自校の状況や取組を改めて検証し、効率的・効果的な業務改善を進めていただくようお願いします。



### 月45時間以内の教員の割合の推移（月別）



## 教職員の持ち帰り業務の把握アンケート調査について

業務の持ち帰りについては、本来、行わないことが原則であります。教育委員会では、業務の持ち帰りの実態がある場合には、その把握に努めるとともに、その縮減に向けた取組を進めることとしており、本市の状況を把握するため、令和5年9月1か月を対象に、教職員の持ち帰り業務の把握アンケートを実施しました。

アンケートの結果、約66%の教職員が業務の持ち帰りを行っており、持ち帰って行った業務内容については、「学習に関わること」が最も多く、次に「学級経営に関わること」、「学校行事に関わること」の順になっています。

また、担任を持っている教員の業務の持ち帰りが多い傾向がみられます。

今後も、引き続き分析を行い、時間外在校等時間を含めた業務改善の取組を進めてまいります。

### 教職員業務の持ち帰り状況

